

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	文化記念プール等3スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	小倉南区田原五丁目1番2号等	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制	有・無	ペナルティ制	有・無
指定管理者	名称	九州林産株式会社		
	所在地	福岡市南区野間三丁目7番20号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業及び収支計画書、各種報告書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント			
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み			
(1) 施設の設置目的の達成			
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られたか（目標を達成できたか）。			
② 利用促進を目的とした施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。			
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られたか。			
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
[所見]			
【利用人員】			
区分	R1 年度	R2 年度	前年度比較
管理棟会議室	47,082 人	13,310 人	▲33,772 人
プール	18,392 人	12,903 人	▲5,489 人
運動場	18,600 人	13,379 人	▲5,221 人
庭球場	25,196 人	20,220 人	▲4,976 人
計	109,270 人	59,812 人	▲49,458 人
目標	133,000 人	134,000 人	
要求水準	133,000 人	133,000 人	
※ ・・・評価対象年度			
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の利用者は令和元年度と比較すると、約5万人の減少となり、要求水準、目標には達しなかった。主な要因として、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全ての施設が臨時休館また利用人数を制限する措置を取ったことや、緊急事態宣言が発出され市民が外出を自粛したことなどが挙げられる。 消毒液・体温計の設置、動線の確保など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、利用者を安全に受け入れる体制を構築した。 ノルディックウォーキング等のスポーツ教室や室内でのヨガ教室や親子料理教室など様々な自主事業を実施した。 プールの供用期間外の有効活用施策として、令和2年10月からバランススクーター教室を実施した。タイムトライアル大会など様々な企画を実施し、新たな利用者獲得に努めた。 			
(2) 利用者の満足度			
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたと言えるか。			
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取り組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			

④ 利用者への情報提供が十分になされたか。

⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

【施設利用について】

満足度	R1 年度	R2 年度
目標値	85.0%以上	85.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	94.7% (30.6%・64.1%)	95.7% (44.8%・50.9%)

【職員対応について】

満足度	R1 年度	R2 年度
目標値	85.0%以上	85.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	96.8% (41.2%・55.6%)	95.1% (49.1%・46.0%)

※ ・・・評価対象年度

- ・令和2年度の施設利用・職員対応の満足度について、目標数値を上回り、高い評価を得た。
- ・アンケートで施設利用者の意見を収集・分析すると共に、日々の接客業務で得られた利用者の意見を社内で共有し、改善に努めた。
- ・『文化記念公園だより』を4半期ごとに発行し、利用者へ最新情報を提供した。また、インスタグラムやTwitter、ブログを定期的に更新してこまめな情報提供を行った。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。

② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。

③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

【維持管理経費】

(単位:円)

区分	R1 年度	R2 年度	前年度比較
委託料	7,794,044	6,028,000	▲1,766,044
修繕費	3,649,132	4,938,178	1,289,046
光熱水費	7,963,034	6,189,064	▲1,773,970
人件費	23,292,369	29,134,156	5,841,787
その他経費	7,028,596	6,839,091	▲189,505
合計	49,727,175	53,128,489	3,401,314

予算	51,012,016	54,851,000	
----	------------	------------	--

※ . . . 評価対象年度

- ・維持管理経費は、令和元年度に比べ、約 340 万円増加となった。これは、庭球場について、令和 2 年度より運営委員会による管理から直接管理になったことによる人件費が増加したことによる。
- ・指定管理者独自の知見を活用し、薬剤投入やろ過のタイミングを調整することでプールの水質を大きく改善させた。これに伴い、水道使用量や薬剤使用量を削減し、光熱水費を大きく削減させた。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設使用料収入】

(単位:円)

区分	R1 年度	R2 年度	前年度比較
文化記念庭球場	3,774,150	3,608,264	▲165,886
文化記念運動場	482,950	463,450	▲19,500
文化記念プール (管理棟含む)	4,262,045	3,514,889	▲747,156
①実収入計	8,519,145	7,586,603	▲932,542

区分	R1 年度	R2 年度	前年度比較
②減免額	6,344,240	5,118,800	▲1,225,440
③合計(①+②)	14,863,385	12,705,403	▲2,157,982

※ . . . 評価対象年度

- ・令和元年度と比較すると、実収入では約 93 万円の減額となった。これは、新型コロナウイルス感染症による利用者数減少に伴う収入減が影響した。
- ・主催者と協議し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を行いつつ、出来る限り多くの大会を予定通り実施できるように調整した。
- ・他の公民館や体育館が利用できない団体のスケジュール調査を行い、多くの団体の方が利用できるように配慮した。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況

- ① 施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

- ・プール、運動場、庭球場の責任者は経験者を配置した。夏場のプール開放では責任者

の他に経験豊富な管理運営経験者を配置し、専門的な知見を充実させ安心安全なプール運営に力を入れた。

- ・ 接遇研修などの各種研修を実施した。資格取得研修は社員 3 名がプール衛生管理者資格を取得し、そのうち 1 名は常勤、残り 2 名はバックアップが取れる体制とした。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されたか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所 見]

- ・ 複数の団体利用が重なった場合、主催者と事前の調整を行い、現地で整理や誘導を行うなど動線を確保した。
- ・ 貸出用の車いすの準備や、授乳室の新設、北九州市「赤ちゃんの駅」への登録を行い、利用しやすい施設づくりに努めた。特に授乳室の新設は自主的に倉庫を改修するなど、指定管理者の努力によってなされたものである。
- ・ 緊急時や防災、防犯に備えるとともに、緊急発生時マニュアルを整備し、職員による毎日の巡回パトロールを実施するなど、安全な施設づくりに努めた。

【総合評価】

[所 見]

- ・ 消毒液・体温計の設置、動線の確保など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、利用者を安全に受け入れる体制を構築した。
- ・ 指定管理者独自の知見を活用し、薬剤投入やろ過のタイミングを調整することでプールの水質を大きく改善させた。
- ・ 貸出用の車いすの準備や、授乳室の新設、北九州市「赤ちゃんの駅」への登録を行い、利用しやすい施設づくりに努めた。特に授乳室の新設は自主的に倉庫を改修するなど、指定管理者の努力によってなされたものである。

[今後の対応]

- ・ 今後も、施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。

